

2017年12月21日
京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施

地震による列車脱線及び路盤流出を想定
12月20日(水) 宗吾車両基地にて

京成電鉄（本社：千葉県市川市 社長：小林 敏也）では、12月20日（水）宗吾車両基地（千葉県印旛郡酒々井町下岩橋字桐ノ木582-1）において「異常時総合訓練」を実施しました。

これは、12月10日（日）から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したもので、ご旅行や初詣等で多くのお客様が当社線をご利用になる年末年始に合わせ、社員一人ひとりの安全意識を高揚するとともに、重大事故発生時における対応力・技術力の向上を図りました。

今回の訓練では、大規模地震により列車が脱線し、車内のお客様が負傷するとともに、液状化によって線路内の路盤が流出したことを想定しました。

この想定のもと、対策本部の設置や関係各方面への連絡通報、列車内に閉じ込められたお客様（視覚障害のあるお客さま、車椅子ご利用のお客さま含む）の避難誘導や負傷者の救護、マルチプルタイタンパー（線路保守作業機械）を用いた現場の復旧作業などを当社と協力会社、佐倉警察署、酒々井消防署など合計約150名が参加して実施しました。

今後もお客様に安心してご利用いただけるよう輸送の安全確保に努めてまいります。

異常時総合訓練の概要は、次頁の通りです。



突き固めを行うマルチプルタイタンパー



脱線した車両を線路に復旧する訓練の様子

異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 12月20日(水) 9:00~12:30
2. 場 所 宗吾車両基地
 【所在地】印旛郡酒々井町下岩橋字桐ノ木582-1
 【アクセス】京成本線 宗吾参道駅から徒歩約10分
3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員(京成建設、京成電設工業)
 佐倉警察署、酒々井消防署 合計約150名
4. 訓練概要 (1)事故想定内容
- ・震度5強の地震が発生し、京成佐倉～大佐倉駅を走行中の列車が脱線。
 - ・併発した液状化により、線路内の路盤が流出。
 - ・ご乗車のお客さまのうち、5名が重軽傷。
 - ・視覚障害のあるお客さま、車椅子利用のお客様がそれぞれ1名ご乗車。
- (2)訓練内容
- ①災害対策本部・現地対策本部の設置
 - ②列車防護、連絡通報
 - ③負傷者救出、旅客の誘導案内
 - ④緊急出動、復旧作業

以 上